

市民の声・市民のニュース

第13号

2018年11月25日
日本共産党根室市委員会
根室市宝林町4-203
TEL 23-6023
FAX 24-1684

道新の記事が気になって！

どうもこの頃、当たり前前のことか当たり前前でなくなってきた、と感じているのは筆者だけでしょうか？ どうして昨今の日本の社会がこんな世の中になっているのかチヨットだけ皆さんと考えてみたいと思います。

道新「11月18日」の記

事に「赤旗」の「ラム表現徳島・二次市長が盗用」というのを妻が見つけたよと読んでみる。市の広報紙に掲載した「ラムに『いんげん赤旗』の「ラムから表現を盗用したことが分かった。」と「ラム」内容を。

「赤旗」の「ラム」は、ズキズキと「ラム」の言葉は、中国語由来の和製中国語として、ペーパードクターや油圧機器大手の検査データ改ざん問題を取り上げたものでした。

これに同感した市長が「赤旗」の記事を盗用したというものです。盗用そのものは悪いことですが、公式なデータの改ざんなどは、各大手自動車会社を始め多くの日本企業で見ら

れる状況が頻繁に起こっています。



なぜこんなことが？

今日この頃の世の中なぞこんなことが頻繁におきているのか？ 「モノづくりに日本」を世界に誇ってきたはずが・・・。

考えて見れば、今の政府「ウンや公文書改ざん」を平気でやり、重大な政治問題までうやむやしてしまっただけです。

森友学園問題では、一人の公務員が文書改ざんの良心の呵責に耐え切れず

自殺に込まれたもので、人の命がかかった重大事件。それなのに大臣誰一人その責任も取らない呆れた政治が横行しています。

どうもこの頃、当たり前前のことか当たり前前でなくなっている訳が少しだけ垣間見た思いをしたいと思います。

「入国管理法改正案」政府が外国人労働者への聴き取り調査結果を平気で「改ざん」し、答弁するなど唯々あきれられるばかりです。

来年は、参議院選挙。市民連合と野党の本気の共闘で「アベ政治」に本当の審判を下したいものです。

あなたのお知らない根室

どうして道新「11月17日」で取り上げられていますか、あなたのお知らない根室に「案内」デーな3日間」と言う10月から始まった新しい企画ツアーが好評を得ています。

地元ガイドが案内

このツアーは、根室に泊る3日の日程での完全滞在型、根室深ぼり「観光」です。

1日目、ホテル到着後、ねむろトコロジストの会「メンバーによる『ミニセミナー』を開催。翌日巡るチヤシ跡群、景勝地、根室の見どころ」が紹介されます。

2日目、ホテルから「トコロジスト」会員がバスに同乗し明治公園、最東端駅東根室駅、歯舞漁協組合市場、納沙布岬、チヤシ跡群、北方原生花園、金比羅神社、御朱印、道の駅スワン4、春国岱、「ホロ」、歴史と自然の資料館」で100名城スタンプ、花咲灯台、車石見学後は、ホテル。1泊目「ホテル」

神慮志の勝手気ままな料理教室その6

夏にイワシやサンマをもらい冷凍などにしたものを使った料理を今回紹介します。

「イワシのトマト煮」2人前

- ①イワシ2尾解凍後、水気をペーパーなどで取り塩「シヨウシ、少し下味をつける
- ②イワシをオリーブオイルで最初強火、焦げ目が付いたら中火に
- ③そこにトマトの缶詰を300g程度入れ弱火か中火でゆ〜り煮込む
- ④味見しながら、足りなければまた少々塩「シヨウ」をかける

読者の方からも料理紹介

読者の方からのものも紹介します。「イワシの缶詰パスタ」(2人前)

- ①用意するもの (パスタ2束、イワシ缶1、大葉・刻みのみりなどお好みで、ごま油、コンブ粉、マヨネーズ)
- ②パスタ茹でる
- ③ボールにイワシ缶「マヨネーズ」を入れ、荒く崩して「ごま油」を入れ、回かき混ぜる
- ④茹で上がったパスタをザルで水気をとって「コンブ茶粉」をまぶす

では、ハナサキガ「泊目」は毛ガ「一杯付きの海鮮料理提供。また昼食は道の駅でサンマネギト「ロイヤル」カロッツ等を選択、地元食材を使った料理も好評です。3日目、JRで落石駅から別当賀駅間をゆ〜り走行、野付半島の後、昼食「ホタテ」へ、中標津空港へ。自らの研修で深めた地元ならではの「トコロジスト」会員のガイドが高い評価を受けています。

また、この企画の具体化をアドバイスしたのが資料館職員だったH氏です。

- ④パスタを②のボールに入れザックリ混ぜ皿に盛り付ける
- ⑤その上に大葉、刻みのみりなどをのせて完成。



おかげさまでこの「ニュース」も発行から丸一年が過ぎました。読者の皆さんから励ましもあり、何とか続けられています。今後ともよろしくお願いたします。